

SUMA TOMOGAOKA 通信

兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和4年度 第3号 10/25

体育祭好天の下開催

9月22日に予定されていた体育祭でしたが、開始直前の大雨によりグラウンドコンディション等から判断し、残念ながら中止順延となりました。生徒会をはじめ運動部の生徒の皆さんが早朝より会場準備をしてくださいましたが、突然の天候悪化はどうすることも出来ません。打って変わって26日は快晴で絶好の体育祭日和でした。保護者の方々の応援もいただき、新しい競技種目や演技披露があり、笑顔が溢れる活気のある1日となりました。特に3年生(38回生)はコロナ禍の中で入学してきた生徒たちであり、多くの行事が開催叶わず、また開催されても縮小スタイルを余儀なくされた学年です。「アクシデントリレー」「サバイバルドッチ」など新しい種目の登場や、吹奏楽部の演奏とダンス部がコラボした演技、白熱した部対リレー等、『例年通りの体育祭』開催を目指し、無事終える事が出来ました。

体育祭の結果は右の通りです。



	総合			大縄跳び (跳べ×2FEVER !!)		
	3年	2年	1年	3年	2年	1年
1位	5組	4組	1組	1位	6組	5組
2位	6組	5組	4組	2位	5組	6組

3年次 総合的な探究の時間 課題研究全体発表

一学期には2年次から1年かけて取り組んだ各自の課題研究をプレゼンテーションスライドにして発表をする活動に取り組みました。3年間の探究活動の中で最も時間を費やす学習活動です。研究、検証、論文、中間発表、ポスターセッションを経て、最終的に全員が7分程度のプレゼンテーション発表を行います。一学期末には各ゼミ代表生徒が全体の場で発表しました。

2022	38回生	全体発表		
3107	絹田七海	習慣化による三日坊主の克服法	池田ゼミ	スポーツ
3109	坂本琴音	スポーツにおける声援の効果	青木ゼミ	スポーツ
3113	清水美伶	子ども食堂	中村ゼミ	くらし・生活
3125	中井心晴	言葉の影響	林ゼミ	人文・教育
3136	安室星麗	自分の力を最大限引き出す方法	納富ゼミ	スポーツ
3138	山下幸大	真のヒット曲とは?	徳山ゼミ	情報・科学
3205	井島愛子	無形文化遺産「和食」	澤田ゼミ	くらし・生活
3212	小澤ひろの	警察音楽隊 設立されている意義について	田中ゼミ	芸術
3240	若山 碧	日本の食生活と栄養の変化について	高橋ゼミ	国際・社会
3328	樋口 漣	外交政策から考える日中戦争泥沼化の原因	笠松ゼミ	人文・教育
3332	丸尾和真	男性用浴衣の帯織りの文化を継承する実践的研究	櫻木ゼミ	芸術
3333	丸目陸斗	「LGBTを理解するためには…」	坂田ゼミ	国際・社会
3404	井下望愛	美容整形 -国が違えば意識も異なるのか-	西谷ゼミ	国際・社会
3434	平家美咲	人はなぜお菓子を食べるのか	青野ゼミ	国際・社会
3504	池田芽生	ADHD患者と共生する社会	八色ゼミ	医療・保健
3513	川田七海	高校生の『臓器提供意思表示』を増やすには	村井ゼミ	人文・教育
3531	古元愛菜	あなたは本当に児童虐待を知っていますか?	齋藤ゼミ	国際・社会
3614	下川幸二	精神的健康	末延ゼミ	医療・保健

【生徒の感想】より

- 様々な視点を持って取り組むことで、そこから色々な疑問を見つけることができました。普段の生活でも、自分が調べていることと関連のあるニュースや駅にあるチラシ、貼り紙、今までは意識したことがなかったところにも目がいくようになり、見て聞いて知識を増やしたいと思うようになりました。
- この課題研究は嫌でも自分の考えを相手に伝えないとイケなくて、どうしたらわかりやすく伝わるのか、どう表現したら自分の考えをわかってくれるのか、そういうことを考える力が身についたと思います。また、発表することに抵抗がなくなりました。何度か課題研究で発表していると、緊張しながらもなんとか最後までやり遂げる力は、この高校生活の中で一番成長した気がします。総合学科だからこそ、社会に出たときのスキルを身につけられるので、将来のためにも本当にいい勉強になりました。
- 単にテーマに沿って述べていくのではなく、テーマの裏付けをしたり、似たテーマの論文やデータを確認したり、自分が聞く側に立場を置いて考えてみることも大事なことで気づきました。

生徒のふり返りの一部です。各々が主体的な取り組みの中から、多様な気づきを持ったことが伝わってきます。



3年次、二学期後半は、「クロスカリキュラム探究」です。それぞれが希望する分野を選択し、活動を行っています。現在、中盤に差し掛かり皆、真剣に取り組んでいます。活動のまとめは、掲示物として総合学科発表会で掲示予定です。

番号	講座名	クロス科目
1	「プログラミング」に挑戦しよう!〜フィットネス×SDGs from Sweden〜	体育・英語
2	ピタゴラス装置で物語を表現しよう	国語・数学
3	トレーニングブックを作ろう!	体育・国語
4	書道と図形の融合	数学・書道
5	ロボットデザイン-レスキューロボットを作ろう-	物理・美術
6	『須磨の細道』 Let's hik (Haiku) ing	体育・国語
7	「食」の楽しみ方や魅力を提案し、情報発信しよう	情報・家庭
8	異文化を英語で表現しよう	英語・地歴
9	☆英語で絵本を制作しよう☆	英語(美術)
10	歌は世につれ世は歌につれ〜昭和歌謡に学ぶ〜	地歴(音楽)
11	初体験!空手道、ときどき沖縄文化	(体育文化)
12	広告・表示ウォッチャーズ -怪しい広告を摘発しよう-	家庭(社会)



1年次 産業社会と人間 職場研究全体発表会

10月7日(金)の「産業社会と人間」の時間に、1学期におこなった職場研究の全体発表会があり、前週に行った職場ごとの発表で選ばれた代表者21人が、1年次生全員の前でプレゼンテーションを行いました。本校では例年、高校生活の延長線上にある「はたらく」ことについて、実際に様々な「職場」に訪問し、事前課題の発表や体験、講話、インタビューをして研究しています。

今年度は7月11日(月)には職場訪問に行けたものの、12日(火)に警報が出たため、6割程度の生徒が職場訪問に行くことができませんでした。そのため、9月2日(金)に5つの企業から職業人に来ていただき、12日に職場訪問に行く予定だった生徒たちに向けて講演会を行っていただきました。半数以上が実際の職場へ行くことができず、残念がる生徒も多数おりましたが、講演会をしていただいたことで「はたらく」ということについての理解を深め、各自の職業観に刺激をいただけたのではないかと思います。発表会は、さすが代表者だけあり、どの生徒の発表も見応えのあるものでした。1学期にプレゼンする方法について講習を受けたことがよく活かされていて、聞き手に伝えたいものが分かる内容となっていました。聞いている生徒も、真剣に聞きとり、評価し、2年次で行われる課題研究の発表への学びとしていました。今後行われる、「クロスカリキュラム探究」では、職場訪問での学びや発表での経験を活かし、充実した活動が行ってほしいと思います。



今年度の職場訪問先(予定)		
株式会社 DIS	神戸地方裁判所	エム・シーシー食品株式会社
神戸市立多井畑小学校	株式会社ラジオ関西	神戸フィルムオフィス
株式会社 伍魚福	兵庫県立美術館	神戸須磨消防署
神戸市立きぼうの丘幼稚園	国際協力機構関西センター (JICA 関西) 神戸市立王子動物園	
頌栄保育園(認定こども園)	神戸聖隷福祉事業団 愛生園	三井住友銀行 須磨支店
白鶴酒造株式会社	(株)ミムラボ	ユニクロ 大丸須磨店
小泉製麻株式会社	オリバーソース株式会社	千代田精機

警報のため職業人講演会として来校していただいた職場		
兵庫県立美術館	国際協力機構関西センター (JICA 関西)	小泉製麻株式会社
オリバーソース株式会社	三井住友銀行 須磨支店	

◆ 季節の便り

校門を入ったロータリーの中央の植え込みには本校の校訓である「知・考・行」の碑があり、碑を囲むように生垣があります。この碑の背側、生徒玄関から出て、下校する時にこのボードが見えます。「月次絵」のようです。「月次絵」とは1年12ヶ月の行事や風俗、自然の移り変わりなどを画題として月の順に描いた連作のことです。

今月はハロウィンがテーマです。10月31日に行われる、古代アイルランドに住んでいたケルト人が起源とされる祭りです。現代では民間行事として欧米だけでなく日本でも子供達の楽しみの行事となってきました。

この「友が丘版月次絵」は校務員の中村さんが、毎月意匠を凝らして制作されており、私たちの目を楽しませてくださっています。

